



萩原朔太郎
大全2022

そこに何をみたか

萩原朔太郎研究会58年の軌跡

歴代会長展

前橋市市制施行130周年記念
萩原朔太郎研究会



初代、第3代——いとう・しんきち

伊藤信吉

詩人・評論家。

第2代——にしわき・じゅんざぶろう

西脇順三郎

詩人・英文学者。

第4代——なか・たろう

那珂太郎

詩人。

第5代——みうら・まさし

三浦雅士

文芸評論家。

第6代——まつうら・ひさき

松浦寿輝

作家・詩人・批評家。

2022
10/1 土
2023
1/15 日

- 開館時間：9時～17時(入館は30分前まで) ■会場：前橋文学館 2階展示室
- 休館日：水曜日、11月24日(木)、年末年始(12月28日(水)～1月4日(水)) ※11月23日(水・祝)は開館
- 観覧料：一般500円 ※高校生以下無料 ※障害者手帳等をお持ちの方とその介護者1名無料
- 観覧無料の日：10月1日(土)(展覧会初日)、8日(土)～9日(日)(前橋まつり)、28日(金)(群馬県民の日)、11月1日(火)(朔太郎生誕日)
2023年1月9日(月・祝)(前橋初まつり)、15日(日)(展覧会最終日)
- 主催：朔太郎研究会会長展実行委員会、萩原朔太郎記念・水と緑と詩のまち 前橋文学館 ■協力：萩原朔太郎研究会



萩原朔太郎記念・水と緑と詩のまち
前橋文学館

■協賛

J!NS
HOLDINGS

Asahi Printing Industry ● **朝日印刷工業株式会社**
平方木材株式会社、株式会社ヤマト
株式会社メモリード、宮下工業株式会社、GNホールディングス株式会社、
株式会社サンワ、プラス株式会社



朔太郎大全 HP



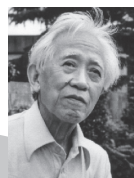
前橋文学館 HP

Designed by studio vision Tatsushi Ichio

萩原朔太郎研究会 歴代会長展

初代、第3代

伊藤信吉



Shinkichi ITO
1906年-2002年

詩人・評論家。

群馬県生まれ。

萩原朔太郎、室生犀星に師事。草野心平と交流

詩誌「学校」に参加。プロレタリア文学運動に参

加後、離脱。33年に第1詩集「故郷」刊行後、

数多くの詩論、作家論を発表し、萩原朔太郎

研究会設立にも尽力した。長らく詩作から遠

ざかるも、70歳で詩作を再開し第2詩集「土州」

発表。96年に群馬県立土屋文明記念文学館の

初代館長に就任。98年度日本芸術院賞・恩

賜賞。その他主な著作に「萩原朔太郎（読売文

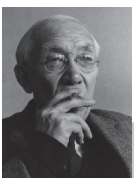
学賞）」「望郷蠻歌 風や天」（芸術選奨文部大

臣賞）、「監獄裏の詩人たち（読売文学賞）」「老

世紀界限で（詩歌文学館賞）などがある。

第2代

西脇順三郎



Junzaburo NISHIWAKI
1894年-1982年

詩人・英文学者。

新潟県生まれ。

慶応義塾大学卒業。画家を志し上京するも断

念し、22年に渡英。25年に英文詩集

「Speculum」を出版。帰国後に慶応義塾大学

教授に就任。33年に詩集「Ambivalent」を出

版。「詩と詩論」に拠り、新詩運動の中心とな

研究が新たな研究を出発させる

1964年に設立された「萩原朔太郎研究会」は、今年で設立58年目を迎えました。

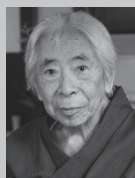
本展覧会では、「詩人・萩原朔太郎を研究する」ということについて、萩原朔太郎研究会の歴代会長たちが、「萩原朔太郎」をどう捉えたか、著作や研究会会報の言葉から紹介し、「論じる」という視点から見た朔太郎について、掘り下げて考えてみたいと思います。

そこに何をみたか

萩原朔太郎研究会58年の軌跡

第4代

那珂太郎



Taro NAKA
1922年-2014年

詩人。

福岡県生まれ。

56年創刊「ユリイカ」において吉岡実、大岡

信、清岡卓行らと交流。意味に偏らず、音韻

や色・形などを駆使する詩法を確立した。評

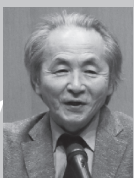
論「エッセー」では萩原朔太郎を論じ、「近代

文学鑑賞講座15 萩原朔太郎」萩原朔太郎そ

の他など、朔太郎研究の第一線で活躍した。

第5代

三浦雅士



Masashi MIURA

文芸評論家、日本芸術院会員。

1946年青森県生まれ。

「ユリイカ」、「現代思想」の編集長を歴任。81

年より執筆活動に転じ、文学、思想、舞台芸

術など幅広い分野で評論活動を行う。91年に

新書館編集主幹に就任し、「月刊ダンスマガジ

ン」、「大航海などを創刊。

著書に「メランコリーの水脈（第6回サント

リイ学芸賞）、「小説という植民地」（第29回藤

第6代（現会長）

松浦寿輝



Hisaki MATSUURA

作家・詩人・批評家。東京大学名誉教授。フ

ランス文学・表象文化論。日本芸術院会員。

1954年東京都生まれ。

東京大学大学院仏語仏文学専攻修士課程修了。

詩集に「ウサギのダンス」「冬の本（高見順賞）

」「鳥の計画」「吃水都市」（萩原朔太郎賞）

」「flower」（鮎川信夫賞）「秘苑にて」など。小

説に「花腐し」（芥川賞）「平島（読売文学賞）

」「そこでゆっくりと死んでいきたい気持ち」そ

る場所に「川の光」名譽と恍惚（谷崎賞・

ドゥマゴ文学賞）「人外」（野間文芸賞）「無月の



「実存主義を生きる」

講師 三浦雅士氏

10月15日(土)14時開演(開場13時30分)

申込方法：9月17日より電話(027-235-8011)にて受付開始

「なぜ詩を〈研究〉するのか」

講師 松浦寿輝氏

12月4日(日)14時開演(開場13時30分)

申込方法：11月5日より電話(027-235-8011)にて受付開始

会場：3階ホール 各先着50名 ※要予約

萩原朔太郎研究会例会

12月3日(土)13時開演(開場12時30分)

お申し込み詳細はこちらをご覧ください。

http://blog.livedoor.jp/sakutaro_society/

展示解説日：11月5日(土)、1月8日(日)14時～ ※各回約30分 ※申込不要

※感染症拡大状況によって、開催や内容の変更をさせていただく場合があります。ご来館の際は、事前にホームページをご覧ください。

文学館同時開催①

「ふだん着の詩集、よそゆきの詩集—萩原朔太郎著作展」

会期：9月17日(土)～12月11日(日)

会場：2階 常設展示室

協力：川島幸希氏(秀明大学学長、近代文学研究者)

萩原朔太郎の生前に出版された単著を、稀覯本である異装版も含めて一同に展示します。

■特別イベント『月に吠える』初版無削除版を手にとって読んでみよう！

開催日：9月24日(土)、10月29日(土)、11月26日(土)、12月10日(土)

※詳しくは文学館ホームページをご覧ください。

文学館同時開催②

「見よ、友情の翼、高く飛べるを

アニメ『啄木鳥探偵處』展」

10月15日(土)～2023年1月22日(日)

会場：3階オープンギャラリー

連携企画展示 前橋市立図書館

「いつか私は詩人朔太郎に出会う運命にあった—前橋市立図書館と渋谷国忠—」

10月1日(土)～2023年1月15日(日)

会場：前橋市立図書館 2階展示室

<https://www.city.maebashi.gunma.jp/library/index.html>

アーツ前橋企画展

「萩原朔太郎大全2022 朔太郎と写真」

11月19日(土)～2023年3月5日(日)

会場：アーツ前橋 1階展示室

<https://www.artsmaebashi.jp>



萩原朔太郎記念・水と緑と詩のまち

前橋文学館

〒371-0022 群馬県前橋市千代田町三丁目12-10

TEL.027-235-8011 FAX.027-235-8512

<https://www.maebashibungakukan.jp>

◎アクセス

電 車：JR前橋駅から徒歩約15分

上毛電鉄中央前橋駅から徒歩約5分

自動車：関越自動車道 前橋ICから車で約15分

※広瀬川サンパーク（市営P）城東のご利用に際しては、駐車券に割引処理をいたします。

